第16次中期経営計画

（2026～2028年度）

2026年11月5日

株式会社エフテック

証券コード：7212

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

トップメッセージ

変化を力に、予測不能な時代を、全員の力で勝ち抜く。

当社の強みの根幹にあるのは「人」。社員一人ひとりが、三現主義に基づき、実直に、諦めず、粘り強く、最後までやり抜く。
創業以来、受け継がれてきたこの姿勢こそが、当社の最も確かな基盤です。

人財を起点に、2つの実行軸で「選ばれ続ける」存在へ

01 起点

人財

すべての価値創造の源泉

実直に、諦めず、粘り強く、やり抜く

プロフェッショナリズム
×
オーナーシップ

02 2つの実行軸

変化への対応力

Back to Basics

稼ぐ力の向上による財務健全化

Challenge for New

持続的成長のための基盤づくり

03 目指す姿

選ばれ続ける

「エフテックに任せておけば安心」と、
世界中のお客様から信頼される存在、
かけがえのない存在へ

持続可能なモビリティ社会の実現

「人」を起点に、「2つの実行軸」を基盤に、グローバルで価値を創造する

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

価値創造プロセス

当社は6つの資本を活用し、モビリティの「足廻り機能領域」において、研究開発から生産まで一貫して価値を創造し、
社会と企業の持続的な成長を目指します。

INPUT
6つの資本

1 財務資本
2 製造資本
3 知的資本
4 人的資本
5 社会・関係資本
6 自然資本

BUSINESS MODEL
エフテックの価値創造活動

エフテックの競争優位性 4つの強み

商品開発力
生産技術力
国際競争力
顧客要求への対応力

OUTPUT
製品価値

サブフレーム

サスペンション

ペダル

OUTCOME
社会にもたらす価値

安心安全な製品提供

移動快適性の提供

環境に配慮した製品の提供

グローバル社会への貢献

GOAL
持続可能なモビリティ社会の実現

わたしたちは、社是、理念、行動指針のもと、持続可能なモビリティ社会の実現に向けた事業活動を通じ、地球的課題の解決に真摯に取り組み企業価値の向上を目指していきます。

創出価値を次なる成長へ循環

価値創造を支える基盤

社是・理念・行動指針	サステナビリティ基本方針・各種方針	ガバナンス体制
企業文化の基礎	社会課題の解決と企業価値向上へ	透明性のある経営

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第15次中期経営計画の振り返り

第15次中計は、構造改革と収益基盤の強化を推進し、財務体質の改善と収益力の底上げに成果を上げました。一方、米国・中国の事業課題への対応や価格転嫁の徹底など、次期に持ち越す重要課題も明確にしました。

第15次中計の目標・実績

指標	売上高	営業利益	営業利益率	Net Debt ／ EBITDA 倍率	EPS
最終年度目標	3,000億円	80億円	2.7%	3.1倍以下	175円以上
最終年度実績	2,918億円	84億円	2.9%	2.37倍	254.5円

達成した主な成果

- **営業利益目標を達成**
- **財務体質の改善**
- **構造改革の進展**
- **収益力の基盤強化**

第16次中計へ持ち越す課題

- **米国事業の収益改善**
- **中国NEV対応**
- **価格転嫁の徹底**
- **収益力の質的向上**

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第16次中期経営計画の概要

全社方針	変化への対応力を磨き持続的に企業価値を高める		
全社目標	営業利益 100億円	当期純利益 55億円	ROE 8%

※親会社株主に帰属する当期純利益

Back to Basics

- モノづくりの本質追求
- 最小投資で最大利益を創出
- ガバナンス強化
- 人財マネジメントの確立

稼ぐ力の土台をさらに強固にし、収益力と資本効率を最大化します

2つの軸で持続的な企業価値向上へ

Challenge for New

- 拡販のための営業・開発力強化
- 新技術の活用・新分野の開拓
- インドビジネスの拡大
- CN実現に向けた具体化

成長機会を拡大し、新たな価値創出と持続的な成長を実現します

第16次中計期間（2026年4月～2029年3月）

	1	2	3
Back to Basics 稼ぐ力の土台強化	モノづくり基盤の強化 コスト競争力の向上	収益力の底上げと 安定収益基盤の確立	収益性の向上と 資本効率の改善
Challenge for New 成長機会拡大	コア技術の高度化と 新領域探索	成長領域への重点投資と 事業ポートフォリオの拡充	新事業の拡大と グローバル展開の加速

2030年に向けた到達イメージ

- 収益力の向上
- 成長領域の拡大
- 持続的な企業価値向上

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第16次中期経営計画の主要施策　～Back to Basics～

モノづくりの本質に立ち返り、稼ぐ力の土台を磨き上げる

現場起点の改善と経営の基盤強化により、無駄を徹底的に排除し、強く収益性の高い体質を築きます。

主要施策

モノづくりの本質追求	最小投資で最大利益	価格転嫁の徹底	構内物流の再構築
● 品質向上と不良低減の徹底	● 投資の選択と集中	● 価格戦略の明確化と実行	● ラインの集約・再編の推進
● 工程・作業の標準化と見える化	● 設備稼働率の向上と効率化	● コスト上昇の適正転嫁	● ボトルネックの解消と流れ改善
● 生産性向上とムダの徹底排除	● 投資回収の迅速化	● 価値に基づく価格提案の強化	● 自動化・省人化の推進
● 現場力の強化と人財育成	● 投資対効果の徹底管理	● 契約条件・取引構造の見直し	● 品質と生産性の両立

稼ぐ力を高める実行プロセス

現場起点の改善	固定費の最適化	原価低減	収益体質の強化
▶ 課題の発掘と優先順位付け	▶ ライン集約による固定費削減	▶ 材料・外注・工数の最適化	▶ 売上総利益率の向上
▶ 標準化・PDCAの徹底	▶ 間接費の見直しと効率化	▶ VE・VA活動の推進	▶ 営業利益の安定的な創出
▶ 改善文化の定着	▶ 資源配分の最適化	▶ サプライヤー協働の強化	▶ キャッシュ創出力の強化

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第16次中期経営計画の主要施策　～Back to Basics～

現場改善を積み上げ、収益力の底上げにつなげる

3つの実践エンジンを核に、改善活動の共有から標準化、生産性向上へとつなげ、持続的な収益体質の改善を推進します。

実践エンジン：現場発の改善サイクルを加速する仕組み

経営モニタリング会議

現場課題を起点に、
部門横断で解決策を協議・実行

- 定期的な課題共有と優先順位づけ
- 改善テーマの多角的な検討と意思決定
- 成果と学びの共有によるナレッジ蓄積

拠点間改善支援

優れた改善事例を他拠点へ展開し、
底上げを実現

- 改善リーダーによる現地支援・伴走
- 改善ノウハウの共有と活用支援
- 成果の横展開とロールアップ管理

人財交流

人の交流を通じて、
知見・意識・文化を共有

- 現場リーダー層の短期トレーニー
- ベストプラクティスの習得
- 改善文化の醸成と自律的改善の加速

取り組みを支える基盤

ガバナンス強化

- コンプライアンスの徹底と透明性の確保
- 内部統制の強化
- データに基づく意思決定の推進

人財マネジメントの確立

- 成果につながる人財ポートフォリオの構築
- 育成とエンゲージメントの向上
- 公正な評価・処遇の実現

現場力の最大化へ

実行力の強化
課題解決のスピードや質を
向上し、現場の自走力を強化

再現性の向上
標準化と横展開により成果の
再現性と持続性を確保

全体の底上げ
拠点・部門を超えた連携で、
全社の改善力を底上げ

収益力の持続的な底上げへ

現場改善の積み上げを、
収益体質の改善と企業価値の
向上につなげます。

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第16次中期経営計画の主要施策　～Challenge for New～

新たな市場と技術への挑戦で、成長機会を広げる

顧客・地域の枠を越えた価値創造により、持続的な成長と企業価値の向上を実現します。

次世代製品ラインナップの拡充

- 軽量化 サブフレーム
- 次世代ペダル
- 高剛性・軽量化 サスペンション
- 非車載部品

●軽量化・高剛性部品の拡大
●量産技術の進化と標準化
●モジュール供給やシステム提案

高付加価値化の推進

差別化技術 ≫ 価値向上

- EVバッテリー保護技術
- 軽量化による燃費・航続距離の向上
- 耐久・品質信頼性向上
- 振動・騒音の低減による快適性向上

●高付加価値製品の比率向上
●設計・解析・評価の差別化加速
●価格決定力の強化
●長期取引の拡大

新技術の活用

自社開発 非破壊検査機（NDT）

- 高精度・高速検査
- AI画像解析による異常検知強化
- 工程内検査で品質・コスト改善

●品質・生産性の向上
●外販ビジネスの創出
●予兆検知・不良低減を推進
●当社標準機としてグローバル展開

インドビジネス展開

インド市場
・都市化により自動車需要が拡大
・世界最大級の人口・成長市場
・豊富な若年労働力

- 新会社設立による競争優位性を発揮
- 現地サプライヤーとの連携強化
- 営業×開発を現地展開

●コスト競争力と供給安定性確保
●現地人財・技術の活用
●インドビジネスを第三の柱へ

価値創造の流れ

新技術・新分野への挑戦
・独自技術の進化
・新市場ニーズの探索
・アライアンス・協業推進

≫

受注拡大
・新規顧客の獲得
・既存顧客との取引拡大
・高付加価値案件の増加

≫

売上成長
・新規ビジネスによる増収
・収益性の向上
・事業ポートフォリオ拡張

≫

企業価値向上
・持続的な利益成長
・資本効率の向上
・ステークホルダー価値の最大化

新たな価値で、未来を拓く

技術と市場の可能性をつなぎ、社会課題の解決と持続的な成長を両立。「Better than Ever」の実現に向け、新たな価値創造を続けます。

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

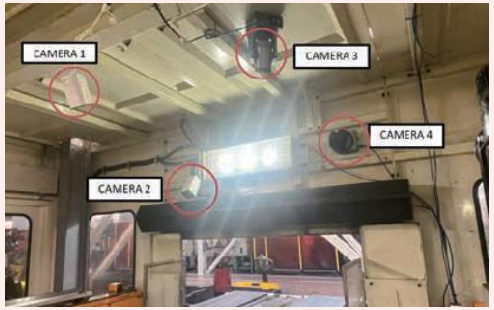
第16次中期経営計画の主要施策　～Challenge for New～

持続的成長のための基盤づくりの紹介

新技術の活用・新分野の開拓に向け、海外と国内でも複数の取り組みに挑戦しています。

海外挑戦　AI外観検査（Vision Inspection）

2つの工程におけるAI外観検査の試験的導入



①プレス単品のAI外観検査
プレス機内に設置した4台のカメラで、穴の欠落やクラックなどを早期に検出し、成形不良の抑制を目指します。

② 溶接完了品のAI外観検査
コスト抑制と品質管理の向上に向け、ロボットに搭載したカメラを用いて、溶接部の多視点検査を検証しています。今後は、AIを活用した外観検査をプレス・溶接・塗装・組立の各工程に導入することを目指します。

国内挑戦　日本の新事業内容

リパーパスバッテリー搭載型トレーラーハウスの開発

・埼玉県「サーキュラーデザインリーディングモデル構築支援補助金」認定
・使用済み車載バッテリーを再利用したトレーラーハウスを開発
・2026年2月 プロトタイプ完成

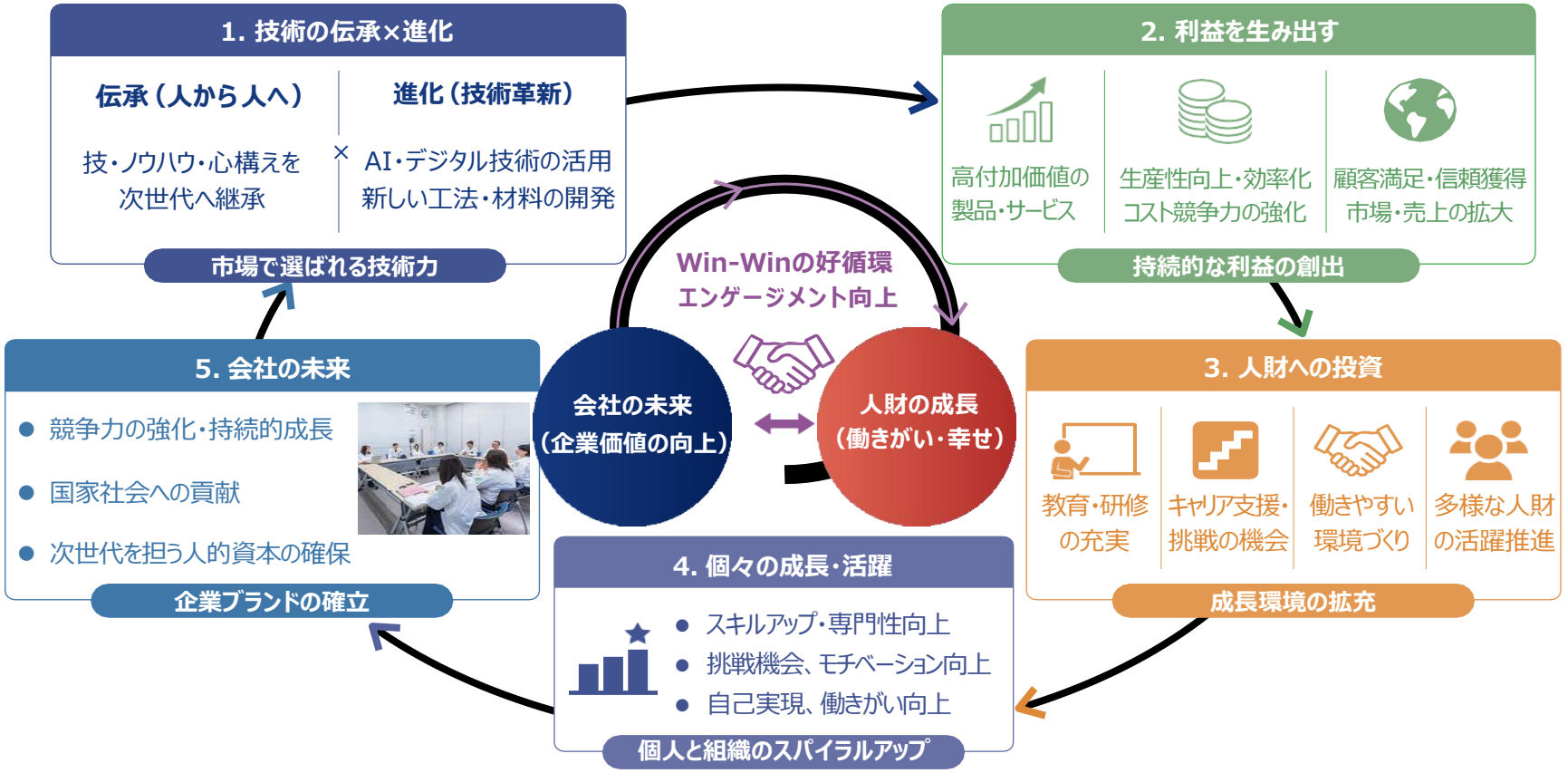
【今後の展開】
市場投入に向け、埼玉県内の公共施設での実証を検討しています。
継続的な利用を通じて実用性や運用上の課題を確認し、使用済み車載バッテリーの新たな活用モデルの確立につなげていきます。

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

人的資本経営の推進　－人財への投資を通じて、持続的な成長を実現する－

中長期的な企業価値向上の実現に向けて、「人財への投資→個々の成長・活躍→企業価値向上」の好循環を目指します。
人財マネジメントの構築を重要テーマに位置づけ、一人ひとりが主体的に挑戦し、成長できる人財基盤の構築を進めていきます。

エフテックの目指す姿（会社と個人のWin-Winの好循環）



技術の伝承と進化を力に利益を生み、人に投資し、会社の未来をつくる好循環へ

人財マネジメント構築に向けた6つの重点領域

1 基盤	新たな人事制度の導入による会社と個人の成長基盤整備
2 採用	多様な人財の確保による組織力強化
3 育成	教育投資強化による専門性と主体性の向上
4 配置	タレントマネジメントによる適所適財の実現
5 環境	多様な人財が活躍できる職場環境の整備
6 組織	エンゲージメント向上による組織力強化

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

カーボンニュートラルの実現に向けて

カーボンニュートラルの達成に向けて、「エフテックカーボンニュートラルチャレンジ」を推進中です。

エフテック カーボンニュートラルチャレンジ

フェーズ	省エネ・高効率化/製品への取り組み	他産業・サプライチェーン連携強化
目標	2035年 Scope1/2 製造領域カーボンニュートラル達成	

開発・EG・製造領域

これまでの主な取り組み

2026年4月本格稼働

亀山事業所へ太陽光パネルを設置

- 製品の燃費性能向上・軽量化
- 省エネの取り組み
- ISO50001の活用
- 低CO2電力の導入

第16次中計の主な取り組み

管理	**カーボンフリー・再エネ電源の拡大 Scope3の算定確立**
生産	**CO2排出総量の低減 CO2排出原単位の改善**

中長期の取り組み

軽量かつ低CO2排出仕様の提案

Scope1のCO2排出量ミニマム化

2025 → 2035

※EG：エンジニアリング
※CN：カーボンニュートラル

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

営業・開発戦略

「営業・開発力の強化」「新技術の活用・新分野の開拓」を目指します。

目指すゴール

3年間で

250

億円以上

新規ビジネス獲得

01	**既存メーカーの新規車種受注**	ホンダ・GM・トヨタ・米系EV・スズキ等
02	**新規メーカーの開拓・受注**	欧州系・中国系メーカー等
03	**非車載領域でのビジネス開拓**	
04	**新技術の展開・進化**	
05	**設計基本構想へのAI活用**	

非車載領域に挑戦し、事業領域の枠に捉われない、ビジネス獲得を目指します

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

資本効率の向上に向けて

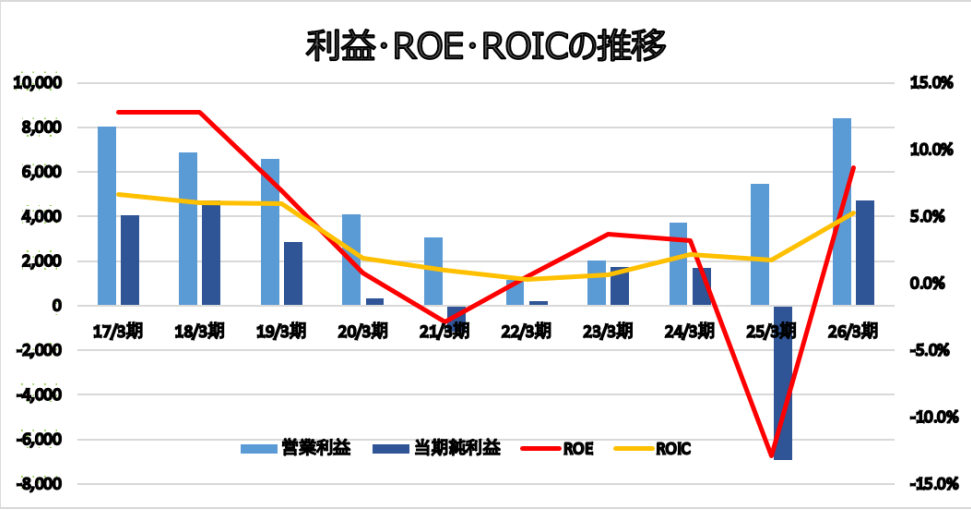
資本効率に対する基本的な考え方

当社は、事業・投資判断の軸として、中長期的に資本コスト(WACC)を上回るROICの実現を目指します。
ROICの向上を通じて、株主視点の指標であるROEの安定確保と向上につなげます。

※当社のWACCは、6.5%-7.2%程度と認識しております。2026年3月期時点のROIC（運用ベース）は5.27%、ROEは8.62%です。

第16次中期経営計画における方向性

営業利益100億円・当期純利益55億円の達成に向け、利益創出力の強化と投下資本の効率化によりROICを高め、ROE8%以上を安定的に確保できる収益基盤を構築します。あわせて有利子負債の削減による財務体質の改善を進め、中長期的なROIC＞WACCの実現と持続的な企業価値向上を目指します。



単位：百万円（左軸）／%（右軸）

向上施策

① 利益創出力の強化：
営業利益率の改善

② 投下資本の効率化：
運転資本の圧縮・投資の選別

→ **ROICの向上**
中長期的に
WACC超を目指す

→ **ROE8%以上**
安定確保と
さらなる向上

③ 財務基盤の強化： 有利子負債の削減による財務体質の改善

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

キャッシュアロケーション

資本配分方針

営業CFを主たる原資とし、有利子負債の削減による財務健全性を確保しつつ、投資回収の確度とROICを見極めたうえで、成長市場・重点顧客向けの開発・設備・DX・M&A投資を実行し、インドR&D拠点の新設や米国工場の拡張などで将来の収益基盤を拡大します。人財への投資も進めながら、成長に裏付けられた安定的・継続的な株主還元を実現します。

原資	配分		主な内容
営業CF	開発・設備・DX・M&A投資	成長投資・新機種投資	成長市場・重点顧客向けの投資（インドR&D拠点、米国工場拡張等）／ 生産性・収益性を高める投資（工場自動化・ITシステム刷新等）／ 非車載分野への投資
		更新投資	生産設備・拠点の維持更新／品質・安定供給の維持／環境・安全・法令対応
	財務健全性の確保		財務健全性強化に向けた有利子負債の削減
外部資金調達 （必要に応じて）	人的資本への投資		人財ポートフォリオの最適化／専門人財の採用・育成／処遇制度の整備 次世代リーダーの計画的育成／多様な人財が能力を発揮できる組織
その他キャッシュ	株主還元		成長投資および財務健全性とのバランスを踏まえ、安定的・継続的に充実

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

配当方針について

従来

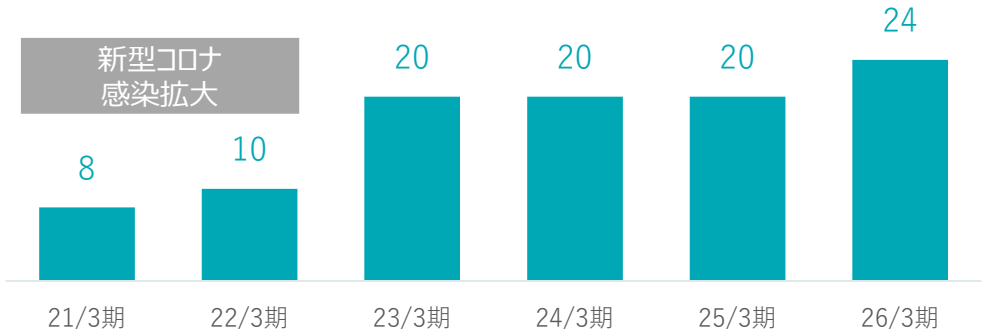
当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。株主の皆様への還元を重要視しており、財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。

配当方針

年間20円を下限

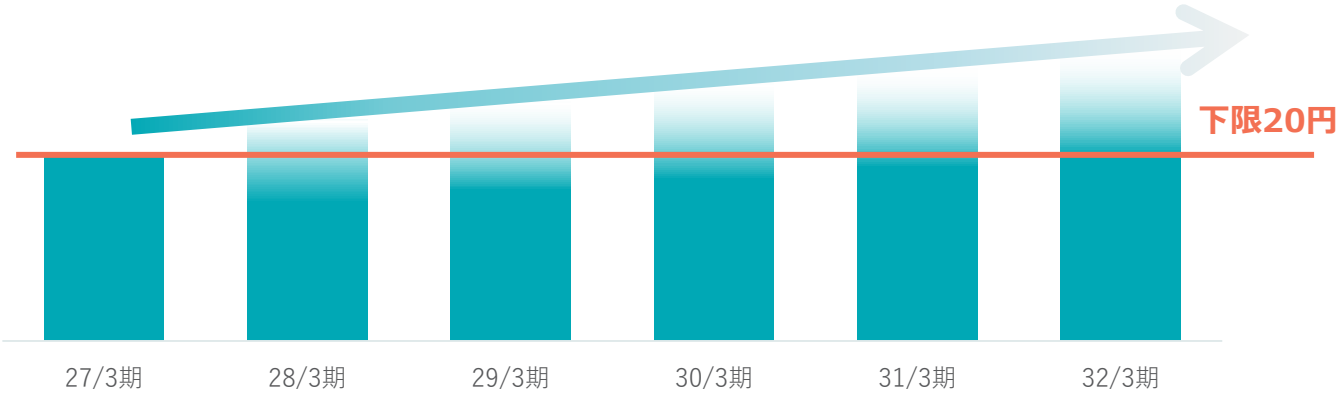
当社は株主還元を重視し、1株当たり年間20円を下限とする安定的・継続的な配当を基本とします。収益力の向上と財務改善を前提に、配当金の段階的な引き上げを目指します。

配当実績　1株当たり配当（円）



目指す姿（将来イメージ）

第16次中期経営計画　　第17次中期経営計画　以降



収益の一部を有利子負債の縮減に優先的に充当し、財務基盤の強化を進めます。

利益成長と財務体質の改善に応じて配当を拡充。業績・財務状況等を総合的に勘案し、将来的に配当倍増を目指します。

※将来の棒グラフは方向性イメージであり、具体的な配当予想を示すものではありません。

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

米国オハイオ工場の拡張

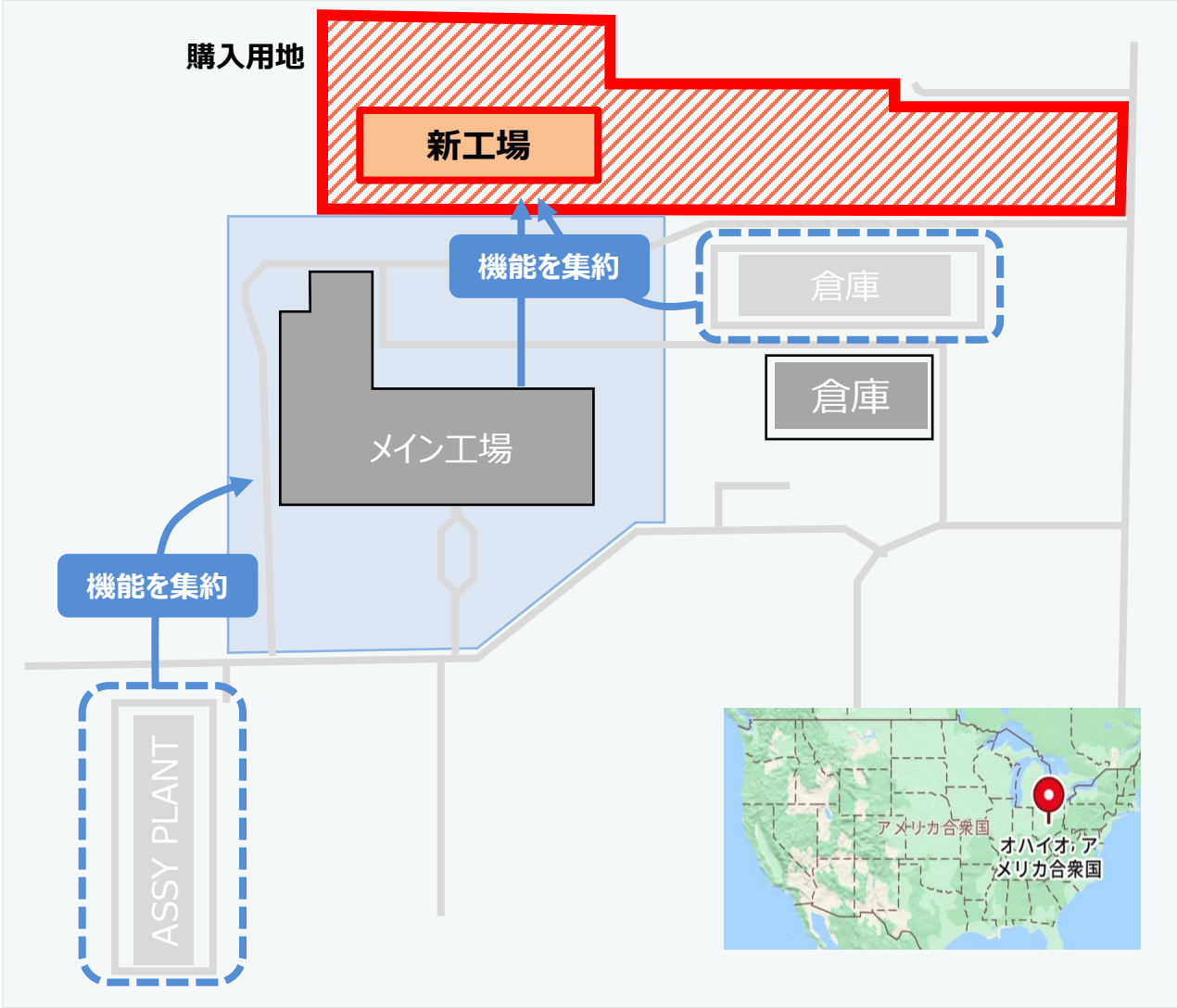
背景・狙い

主要得意先の北米HV生産体制の強化を商機に、当社の
米国オハイオ工場の隣地に新建屋を建設します。
組立機能・倉庫機能の集約と工場内レイアウトの見直しにより、
物流効率と生産性を高め、HV関連製品の受注拡大と北米
における競争力強化を狙います。

投資の概要

名称	F&P America Mfg.,Inc. オハイオ工場 North Plant
土地面積	**86,603㎡**
建物面積	**16,351㎡**
投資予定額	約35百万米ドル（約55億円）
着工予定時期	2027年4月
稼働予定時期	2028年10月

機能集約とレイアウト最適化



Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

インドビジネスの事業展開

インドに戦略拠点「F-TECH R&D INDIA PRIVATE LIMITED」を設立し、
インド市場に合わせた研究・開発体制を構築し、新規部品の受注獲得を狙います。

インドビジネス戦略

Step1 ～2025	提携先の製造体質強化	改善・原価低減活動への支援
Step2 ～2026	日系自動車メーカー継続・新規受注	新規受注の獲得 生産能力を確保
Step3 ～2027	R&D設置体制構築	既存取引先の開発領域に参入 現地メーカーにおける営業・ エンジニアリング・開発の評価体制を構築
Step4 ～2028	現地自動車メーカー新規受注	インド子会社／JV会社との協業によるビジネス拡大 新規TA／JV先との連携による生産能力確保

新拠点設立の概要

- 競争優位性の確保
- 提携先ネットワーク活用
- 最小規模での進出
- 現地ニーズに合わせ規模拡大
- 「営業×開発」で営業展開、顧客開拓

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により、実際の業績と記述している将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

The future outlook and earnings forecasts in this document are made based on the information available at the moment, and they include potential risks and uncertainties.

As a result, please bear in mind that actual business performance may substantially differ from the stated future forecasts due to changes in various factors.

IR情報のお問い合わせ、取材お申し込みは
For inquiries on IR information, please contact:

株式会社エフテック　総務部/経理部
F-TECH INC.　General Affairs Department/Finance and Accounting Department

代表TEL　0480-85-5211　　Mail　webmaster@ftech.co.jp

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved